



2017年3月14日

プレスリリース

シリコン・ラボ、マルチプロトコル SoC デバイス Wireless Gecko シリーズを拡張する新製品「EFR32xG12」シリーズを発表

高度に複雑な IoT アプリケーションにコネクティビティ、メモリ、周辺機器対応の豊富な組み合わせで対応し、IoT におけるマルチプロトコル設計の課題解決に貢献

シリコン・ラボラトリーズ (本社: 米テキサス州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下: シリコン・ラボ) は、マルチプロトコル・システムオンチップ (SoC) デバイス「Wireless Gecko」ポートフォリオの拡張となる新製品「EFR32xG12」シリーズを発表しました。EFR32xG12 シリーズは従来モデルと比較してフラッシュメモリが 4 倍、RAM が 8 倍と増設されており、あらゆるレベルの製品デザイナーが、日増しに複雑性が増す IoT アプリケーションに、多才なマルチプロトコル切替え機能の追加搭載が可能です。また、EFR32xG12 シリーズは従来から対応する各種無線プロトコルに加えて新たに Bluetooth® 5 に対応し、ホーム・オートメーション、ネットワーク接続照明機器、ウェアラブル端末、産業用 IoT に用いるマルチプロトコルやマルチバンド対応の範囲をさらに拡張し、一段と高い RF 性能、暗号機能のさらなる高速化、メモリ拡張のオプション、オンチップ型の C タッチ (静電容量型タッチセンス) 制御、低消費電力の周辺機器およびセンサ・インタフェースの追加等を実現します。

EFR32xG12 Wireless Gecko SoC シリーズは、サンプルおよび量産品ともに 7mm x 7mm QFN48 パッケージで供給され、I/O 増設を要する高機能アプリケーション向けに、65-GPIO 7mm x 7mm BGA のパッケージ・オプションが用意されています。新 EFR32xG12 の Mighty Gecko、Blue Gecko、Flex Gecko 各シリーズ SoC の価格と、Mighty Gecko、Blue Gecko、Flex Gecko 用の追加無線ボード、全通信プロトコルに対応したフル機能搭載の SLWSTK6000A Mighty Gecko メッシュ開発キットの価格・納期に関しては、シリコン・ラボ国内販売代理店までお問合せください。Wireless Gecko シリーズには、シリコン・ラボの Simplicity Studio 開発キットがご使用いただけます。Simplicity Studio は開発者に無償でダウンロード提供しています。Wireless Gecko シリーズの及び開発キットの詳細情報は、<http://jp.silabs.com/products/wireless/wireless-gecko-iot-connectivity-portfolio> をご参照ください。

Wireless Gecko SoC は ZigBee®、Thread メッシュネットワーク、Bluetooth® 5、ならびに独自無線通信プロトコルに対応しています。また、無線通信プロトコルスタックのアーキテクチャを最適化し、ネットワークプロトコル間の効率的な切替えを実現しました。その一例として、デバイスメーカー各社は今やひとつのチップだけで、スマートフォンを使った Bluetooth® デバイスのコミショニングやコンフィギュレーションが可能となり、さらには ZigBee®、Thread メッシュネットワークで数百単位のエンドノードの接続ができるようになりました。

RF 性能とセキュリティの強化

マルチプロトコル対応 SoC 市場の中で最高出力 (最大 +19dBm) を誇る Wireless Gecko シリーズは、外部パワーアンプを必要としないため、システムサイズ、コスト、複雑性が軽減されます。また、EFR32xG12 SoC シリーズは

シリコン・ラボ、マルチプロトコル SoC デバイス Wireless Gecko シリーズを拡張する新製品「EFR32xG12」シリーズを発表

2.4GHz 帯域での傑出した感度 (ZigBee® および Thread: -102.7dBm、Bluetooth® Low Energy: -95dBm) に加え、独自プロトコルを用いたアプリケーション向けにサブ GHz 性能も向上させました。業界最大の RF 出力と最高感度の組み合わせにより、スマートメータ等の IoT アプリケーションにおいて、卓越した無線通信距離、より高い信頼性、バッテリー寿命の延長を可能にします。

EFR32BG12 Blue Gecko SoC は 2Mbps という Bluetooth® PHY (物理層) を備え、Bluetooth® 5 規格適合スタックを使ったアプリケーションにおいてゆとりあるスループットが提供されます。この Bluetooth® 5 規格では、無線通信距離が 4 倍、通信速度が 2 倍、送信容量が 800% とそれぞれ拡大され、さらに異種無線 IoT プロトコルとの同居性も改善されています。

IoT のセキュリティ面についても、EFR32xG12 SoC シリーズにはもう 1 基、マルチプロトコル無線通信および NIST (アメリカ国立標準技術研究所) 認定の TRNG (真性乱数生成回路) に特化した、オンチップのセキュリティアクセラレータを搭載することで、安全性を高めています。新たに搭載したこの暗号化ハードウェアブロックでは、最新のセキュリティアルゴリズムがソフトウェア実装よりも高性能かつ低消費電力で実行されます。

メモリと周辺機器対応の拡張

EFR32xG12 SoC シリーズは、前世代の Wireless Gecko 製品と比べて搭載フラッシュメモリの容量が 4 倍 (最大 1024KB、デュアルバンク) に、RAM の容量が 8 倍 (最大 256KB) に増設されています。この大幅なメモリの増設により、IoT 製品の製品寿命延長に寄与する、マルチプロトコルスタック、Micrium OS 等のリアルタイム OS、デバイスのバックアップイメージ、使用環境でのアップグレードができる OTA (無線) アップデート機能等に対応した、複雑性が高く豊富な機能を備えた IoT アプリケーションを、より簡単に開発できるようになります。

また、アナログ・デジタル双方の周辺機器対応も拡張されており、設計上の柔軟性がより高く、センサ等の追加コンポーネントの接続性も高めています。自律型の静電容量式タッチセンスコントローラを搭載しているため、外部コントローラの追加によるコストや複雑性も発生させずに、C タッチ型インターフェースに直接対応できます。

シリコン・ラボで IoT 製品担当シニア・バイス・プレジデント兼ゼネラル・マネージャを務める Daniel Cooley は、次のようにコメントしています。「EFR32 Wireless Gecko シリーズは、現在製品化されている中で最も多才かつ高機能なマルチプロトコル対応プラットフォームです。Wireless Gecko プラットフォームには、マルチプロトコル型コネクティビティを推進し、IoT 製品の実世界側の要件を満たす新たなハードウェア・ソフトウェア機能を搭載していくことで、引き続き製品の強化を図ります。」

屋内・屋外照明、照明制御、エネルギー管理向けソリューションのマーケットリーダーである Acuity Brands 社で、照明機器部門ネットワーク制御担当プロダクト・マーケティング担当ディレクタを務める Bruce Bharat 氏は、次のようにコメントしています。「マルチプロトコル型のコネクティビティにより、当社のネットワーク接続による照明制御において、設計簡素化に役立つ先端機能が実現するだけでなく、設置の簡単さや製品寿命の延長につながる OTA (無線) アップグレード等の顧客ニーズを満たすことにもなります。シリコン・ラボの Wireless Gecko プラットフォームを使うことで、当社のネットワーク対応 LED 製品や制御製品の市場投入を短縮化するための、マルチプロトコル対応 SoC や各種のモジュール、信頼できるソフトウェアスタック、強力な開発ツールが手に入ります」

シリコン・ラボ、マルチプロトコル SoC デバイス Wireless Gecko シリーズを拡張する新製品「EFR32xG12」シリーズを発表

シリコン・ラボラトリーズについて

シリコン・ラボラトリーズ(略称: シリコン・ラボ、NASDAQ: SLAB、本社: 米テキサス州オースチン、www.silabs.com)は、IoT(モノのインターネット)、インターネット基盤、産業オートメーション、民生及び自動車市場向けにシリコン、ソフトウェア、及びシステム・ソリューションを提供する業界大手メーカーです。シリコン・ラボは、エレクトロニクス産業の困難な課題を解決し、性能、省エネルギー、コネクティビティ、設計の簡素化の面で大きなメリットをお客さまにご提供します。ソフトウェア及びミックスドシグナル設計の分野で、卓越した技術力を有する世界クラスのエンジニアリング部門を擁することで、シリコン・ラボは製品開発に携わる皆さまに、初期構想から最終製品に至るまでのプロセス改善に必要なツールをご提供します。会社概要・事業内容の詳細は www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, S ロゴ, Silicon Laboratories ロゴ, Silicon Labs ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

###

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: (米国)1-512-532-5871 E メール: dale.weisman@silabs.com

公式 Twitter アカウント <http://twitter.com/silabs> 公式 Facebook アカウント <http://facebook.com/siliconlabs>

シリコン・ラボ製品紹介サイト www.silabs.com/parametric-search

ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K. TEL: 03-5460-2411(代表)

<http://jp.silabs.com>

以上